

和歌山スキー協通信

2017. 1. 9 (16-17 NO. 3)

あけましておめでとうございます

昨年に続き、雪の少ないシーズンインとなりましたが、各行事とも無事に滑れているようでほっとしています。

ここまでの行事の様子や、今後の行事予定などをお伝えします。



行事案内 (再掲)

1Day スキー

- ☆日時 1/29 (日) ※1/28 (土) 夜出発、
- ☆行き先 今庄365スキー場
- ☆問い合わせ先 小浴康弘 090-3353-1086

関西ブロック競技大会

- 1/28 (土)・29 (日) よませ温泉スキー場
- 問い合わせ先 中岡 090-7873-3603
- (1/8 現在、7名エントリー予定！ 練習会もあります。)

クラブ合同平日スキー

- ☆日時 2/8 (水) ~9 (木)
- ☆行き先 奥神鍋スキー場

全国競技大会

- 3/4 (土)・5 (日) 戸狩温泉スキー場



クラブだより

《ビュースターS F》

野沢温泉スキーに行ってきました

恒例の正月野沢温泉スキーに 12/31・1/1・2 と行ってきました。メンバーは 12 名 (大人 8 名・小学生 3 名・幼児 1 名)。心配した積雪量も、やや少ないながらも滑るのに充分。

一番上達したのは、5歳の神谷琥羽(こう)君。リフトから降りるのを待ちかねるかのようすぐに、「行こか」の一声でスタート。みんなも引っ張られるように、膝がガクガクするまで滑りました。

温泉を楽しむ人、スキーを楽しむ人、男の大人たち4名の深夜の(1月1日午前0時30分~1時間)酒盛り等。それぞれに大いに楽しんだ正月スキーでした。

(ビュースタースポーツファミィ 神谷治良)

《きのくにS C》

- (1) きそふくしまスキーツアー
1/21 (土) 夜出発組と 1/23 (月) 朝出発組。
帰りは 1/24 (火) の組と 25 (水) の組。
- (2) 野沢温泉スキーツアー
2/12 (日) ~15 (水)
- (3) 志賀高原スキーツアー
3/19 (日) ~22 (水)

《すべりやS. C.》

- (1) きそふくしまスキーツアー
1/21 (土)・22 (日)

行事報告

全国技術部会 (11/26・27 志賀高原熊の湯)

参加一 中岡 (辻本技術部長の代理)。今シーズンテーマは昨年に引き続き「ベーシックパラレルターン再検証」。2018 年秋の発行を目指す新教程制作委員会からの報告もありました。

中央研修 (12/3・4 志賀高原熊の湯)

参加一 辻本。

県スキー協指導員会議

(12/11 伊都教育会館)

出席一 辻本・坪倉・小林・生地・津田・賀城・中岡。

全国技術部会の報告、新教程、指導員の役割や安全について研修。生地・津田・賀城の3名が初級指導員研修(理論)修了。

「スキーの楽しさをより多くの人に！
今シーズンも指導員一同がんばります！」

関西ブロック初滑り・養成・研修

(12/16～18 志賀高原一の瀬)

参加一 池口(初級指導員養成)、坪倉・辻本・中岡(研修)。※中岡・辻本は2日コース。

「関西ブロック初滑りレベルアップスキー講習会」に行ってきました。和歌山から中岡、辻本、坪倉、池口の4人が参加しました。雪があるか心配でしたが何とか前日に降雪がありファミリーゲレンデは滑走可能でした。16日朝9時の開校式の後各班に分かれ講習を受けました。一日目はとても冷たく手足がかじかむ中全員が今年の滑りを追求しようと頑張っていました。私も久しぶり(20年ぶりぐらい)の講習

会で今の教程の滑りを勉強してきました。1日目、2日目と滑りをビデオに撮ってもらって見せてもらいましたが、全然滑れていなくてとっても恥ずかしかったです。3日目になると少し滑りの感覚がつかめてきたように思います。今シーズン何とか初級指導員資格取得を目指して頑張りたいとおもいます。

(シュカブラ 池口)

クラブ合同正月スキー

(12/30～1/3 黒姫)

参加一 6名。村田・坪倉・崎山・岩橋・小林(きのくに)、石倉(シュカブラ)。

(以下、「きのくにSCニュース」より転載)

ビール缶で大騒ぎ

移動の初日は7時から各人の自宅付近まで迎えにいき、今後のツアーの参考にするため、京奈和自動車道を選択して走行しました。奈良の天理付近も高速に乗らず500円を節約しましたが、信号で止まる回数も多く、少しは時間がかかったこと以外で、渋滞もなかったのに、黒姫センターの到着が5時半になってしまいました。あたりは暗くなっており、荷物の積み下ろしの際に、石倉君から戴いたお歳暮のビール16缶をばらまいてしまい、傾斜で20数メートルコロコロところげまわる缶もありました。幸い通る車もなかったのですが、凍っている道路で転倒の危険もあったのですが、何事もなく済みました。「ビールが命」の人の行動の早いことに感心するやら、おかしさも感じるハプニングもありました。拾った缶を雪の中に置き、さっそく夕食時「エビス」等の高級なビールも交じっていて、「こんな高級なビールはいただかなければ飲むこともない」とビール談議に花が咲きながら、おいしく頂きました。

やっと間に合った

出発前の新聞のスキー場積雪報道では滑れるのかどうか危ぶまれる状況でしたが、29日に数十cmの積雪があり、昨年比べてゲレンデは良く、夕方には土が見えるところもありましたが、十分に楽しめるコンディションでした。私はスキー板を新たに買ったのですが、昨年の坪倉さんが、板が傷むのを危惧して2日間しか滑らなかったことに「こんな時に新しいスキー板を持ってくるなんて」と冷やかしていたお返しとばかりに「なんで新しいのを持ってこなかったのか」と笑われましたが、滑る3日間は雪も降らず選択は正解でした。最終日は前夜から期間中では初めての雪が降り、滑りに行った3名は午前中だけですが、心置きなく楽しめたようです。

初日は今季初めての人がほとんどだったので、初級者用のスマイルゲレンデでポジションの確認等基礎的なことから始めましたが、しばらくすると50mほどのリフト待ち行列ができる程の盛況でクワッドリフトの方へ向かいました。

2日目 山本(裕)君と合流してレッスン

朝の出かける前に、野沢温泉スキー場に来ている山本君から岩橋さんに「黒姫に滑りに行きます」とのメールが届き、落ち合うことにしました。坪倉さんに「山本君から絶対メールが届いているはず」と言って確認したところ4通も入っていました。彼のことだから「高速を使わず来るのでは」と予想していましたが、9時に

クワッド横の食事処に行くともう彼は来て待っていました。「高速道を使ってきた」とレッスンにかける意気込みを感じる行動でした。



今シーズンに田辺君と一緒にツアーに出かけたとのことで、お互いに指摘しあいながら滑ったそうですが、一日でも早く師匠に見てもらい、正しい指摘を期待しての合流を感じました。早く観てもらうことで優位に立ちたいライバル意識もほほえましい関係で「このことを知ったら田辺君はきそふくしまの時は水曜日まで残るというのではないかとみんなで予想。5時間近く一緒に滑りましたが、若いだけあって呑み込みも早く収穫のあるレッスンになりました。次の日も岩橋さんにメールが来て、奥さん孝行で酒どころに立ち寄ったり、木曽の時にお酒を持ってくる等無事に帰ったとの報告をもらいました。帰って田辺君にメールしました。以前に問い合わせがあった時「クラブの行事だから、何かあった時に困るから一人で帰すわけにいかないの。悪いけど一緒に火曜日で終わって」と言っていました。火曜日に帰る人ができたので「水曜日まででもOKですよ」とメールして確認したところ「火曜までの日程でいい」との返事でした。レッスンで彼がどう変わったかが気になる様子でした。二人のきそふくしまでの競い合いも楽しみの一つです。

3日目

いつもだと自分の要求と違えば教えられていることをすることもなかった人が、できないながらもやるように変わり、気に入らなければ黙って抜け出すこともなく、坪倉さんの指摘を真剣に聞く姿勢を見せるまでに変化しました。指導員冥利の一コマもありました。

一年のブランクを取り戻す

正月の教組関係でのツアーがなくなり、初めて合同の正月ツアーに参加した崎山さんは、昨年お母さんの世話やその他で、一年近いブランクがあり、「あのスキーの好きな崎山さんがどうしたことやら」と心配していました。さすが

に一日目は太ももが痛くなり、早目のリタイヤを余儀なくされましたが、2日目以降「何とかブランクを取りもどそう」と早くから遅くまで懸命に取り組んでいました。足の痛みも感じなくなったとレベルアップを実感しており「今年クラブのすべてのツアーに参加するぞ」と意気高い決意を語っていました。

無線の実験

坪倉さんから提供のあった無線と充電器・電池を買って準備はでき、次のきそふくしまから無線でのレッスンをするために今回実験的にやってみたのですが、宿舎では通じていたのが1台だけで、実際にやってみたものうまくいかず、宿舎でのテストではすべての台数とつながり、次への備えは完了しましたが、実際に使ってみてうまくいくかどうかは未知数です。

これもあい

2日目岩橋さんはスキーではなく、妙高や新井まで出かけて街並みを探索。古い町並みには造詣が深い彼らしい行動です。村田さんも一日午前中のみスキーで、その他ではウォーキングや散策・グルメを楽しんでいました。4日間の長丁場の正月ツアーではスキー以外のことで、どう楽しみを膨らませるのかの模索もありかなと思わせる二人の取り組みでした。

本末転倒

最終日は滑るのをやめ、お土産買に出かけました。傷入りリンゴが安く買え、人気で6箱(3人分)買いましたが、多くの空間をとり宅配も考えましたが、車で持ち帰ることにしたため、荷物も多く、荷物の空間に人が座る状態になってしまいました。4箱の注文だった坪倉さんに

「市長選にでも出るの」と冷やかしてみんなで大笑い。早目の出発で多賀までは順調に走れ、夕食は家で食べれるのではと思わせる程でしたが、そのあとは渋滞と宇治のトンネルの中で故障車があり、ノロノロ運転が続き、多賀から京田辺まで行くのに2時間半もかかり、狭い空間に座っている人は、エコノミー症候群に近い症状までになり、「次からリンゴは各人ひとつで、それ以上は宅配にしたら」との意見もでました。スキー行は正月の含め、自然が相手だけに何が起るかわかりません。最終の到着が11時半となりました。全員無事に帰れたことでよしとしましょう。

多額のカンパをいただいた

今回も村田さんが高額のカンパをしてくれました。本人の了承も得て、「この正月ツアー・クラブのきそふくしまツアー」の2回に分けて使わせてもらうことにしました。本人は「みんな私の弟分だから」と言ってくれています。頼ってはいけない事ですが、安い金額で行けました。本当にありがたいことです。

(きのくに 小林)



発行責任 中岡 大

648-0003 橋本市隅田町山内 1017 TEL 0736-36-8452 FAX 0736-36-1358

E-mail dai-n.suberiya@gaia.eonet.ne.jp

携帯 090-7873-3603

和歌山スキー協ホームページ <http://www.jtw.zaq.ne.jp/cfaol505/> (「和歌山スキー協」で検索!)